

広報 あいづ ばんげ

2

No.678
2021

橋本自治会

目次 - CONTENTS -

坂下初市	2
確定申告は2月12日(金)から3月15日(月)まで	4
まちの話題	5
会津坂下町表彰式	6
図書室だより・町史編さん調査余話(40)	7
お知らせインフォメーション	8
こどもと健康の広場	12
幼稚園・保育所で団子さし	14

表紙:市神様の移御



坂下初市



感染症対策を万全に、 坂下初市を開催



1月14日、坂下初市が行われました。今年には新型コロナウイルス感染症対策のため、大俵引き、スポーツ少年団東西対抗俵引き、俵太鼓、鏡割り、福餅つき、福豆俵まきは中止となりました。市神様移御・還御、大俵のお祓い、富くじ抽選会、出店は、感染症対策を行った上で執り行われました。寛永2年（江戸時代前期）に始まった俵引きが中止となるのは、戊辰戦争を境に中断していた期間（明治元年から昭和30年）以来となりました。

大俵の前（役場前）にお祀りした市神様の前では、初市実行委員や関係者が出席し大俵のお祓いが執り行われ、五穀豊穰、商売繁盛、新型コロナウイルス感染症退散が祈願されました。

市は例年の半数の出店数で、マスクを着用して訪れた町の人々が、縁起物の風車や起き上がり小法師を買い求める姿が見られました。

来年は大俵引きの大歓声が上がる坂下初市が行われるよう祈願しつつ、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策を継続してまいります。



市神様移御・還御

市神様の移御・還御は、寛永2年に初市が始まった際、日月神社の神様を市神様とし、俵引きを奉納したことから始まったもので、日月神社（橋本）より大俵前（役場前・仲町）まで市神様をお移し、お還しすることをいいます。



▲橋本自治会を先頭で大俵前の社まで向かいます



▲市神様にお供えする米や野菜、御神酒などを準備します



▲準備したお供えや市神様の提灯を社に奉納します



▲市神様の御神体（中央の箱）を運ぶ年男

今年も、橋本地区・仲町地区の皆さんにより移御・還御が執り行われました。1月13日、市神様の御神体は橋本地区の年男に背負われて大俵前の社にお移しされました。1月14日、祭り行事の全てが奉納されると、市神様は元の日月神社にお還りになりました。

還御の際は、仲町の年男が御神体を背負って日月神社までお還しし、坂下初市を締めくくりました。橋本地区・仲町地区の皆さんは、多くの方に町の伝統である市神様の移御・還御を知っていただけたらと話されました。江戸時代前期に始まった伝統は、地域の力により守られ、これからも続いていきます。



▲移御が完了し、市神様がお祀りされる

